

# 花のある 空間

大高 令子



## シンプルに飾る サパン・ド・ノエル

今月の花材

モミの枝・バラの実

11月の終わりのころになると、フランスでは街の至るところでクリスマス用のツリーが売られます。買い求めた人々が担いで歩く様子は、クリスマスシーズンの風物詩になっているほどです。

クリスマスツリーのことを、フランスでは「サパン・ド・ノエル」と呼びます。「サパン」はモミの木、「ノエル」はクリスマスを意味します。

大きなツリーも素敵ですが、オフ

イスの中では、モミの枝が1本あるだけで、スタイリッシュにクリスマスの雰囲気を楽しめるでしょう。60センチ以上の長さのものであれば、オーナメントも飾りやすく、飾ったときに迫力が出ます。

器は、枝が安定しやすいように口径の小さいものを選びましょう。モミの枝については、水に浸かりそうな下葉は、切り落としておきます。

オーナメントは、今回はバラの実

が付いた小枝をカットしてモミの枝に掛けていますが、サンタやスノーマンなどのアイテム、金銀のボールやリボンなどを自由に飾りましょう。

オレゴンモミという種類を選ぶと、乾燥しても葉が散りずらく、ドライで長く楽しむことができます。

シーズンにはフラワーショップで販売されますので、見かけたらぜひトライしてみてください。